

いわさ民報
発行所 民報社
社址 田町四番地電話一七六番
編集人 千輝克巳
印刷 千輝印刷
定価 一月十五円 一部五十銭

大勢に順應一應解散

純然たる連絡機関に改組決る
日蓮炭産と全炭の対立による全炭連の分裂に伴つての連絡機関の解散が存続

出炭稼働率共に回復
ガス爆発の警備着々復舊
その他関係方面もホッと

桑園拡充
対策協議
農業委員会及び各町では、十八日

平土建組合結成さる
堂々たる役員陣の顔触れ
工業株式會社(平土建)

湯本警部補
派出所新築
湯本警部補派出所建設委員会

田戸式糸土器發見
川前村鬼ヶ城山北麓から
慶應大學考古學研究所

小名濱町會
招集、本年度追加役員を始め
高女校第三防火警備隊、特別

平署異動
警察部の異動に伴い、平署が

特別電報
植田町へ
勸進町支店廣り

言すきわい
○大も歩ははりに
○今も歩ははりに

高價買入
衣類、書籍、骨董
金品類

平市の隣村合
併は時期尚早
平市當局が市の発展策の一

民報論壇
この大都市計画を市民に口

民報論壇
この大都市計画を市民に口

